

11/7(土)

心と社会

12:50~13:00 大和 裕幸 理事・副学長
13:00~13:50 塚本 昌則 人文社会系研究科 教授
14:10~15:00 近藤 伸介 医学部附属病院 特任講師
15:20~16:10 樋口 亮介 法学政治学研究科 准教授
16:20~17:10 橋爪 隆 法学政治学研究科 教授

開講の挨拶
「文学と想像力」
「こころ」と「からだ」と「くらし」の三角関係
「精神障害者と罪と罰」
総括討議

11/22(日)

進化と心

13:00~13:50 武内 ゆかり 農学生命科学研究科 准教授
14:10~15:00 長谷川 寿一 総合文化研究科 教授
15:20~16:10 國吉 康夫 情報理工学系研究科 教授
16:20~17:10 榎本 和生 理学系研究科 教授

「動物の心」
「ヒトの心はどのように生れ、進化してきたか？」
「ロボットは心を持つか？」
総括討議

11/29(日)

コミュニケーションと心

13:00~13:50 酒井 邦嘉 総合文化研究科 教授
14:10~15:00 針生 悦子 教育学研究科 准教授
15:20~16:10 下山 晴彦 教育学研究科 教授
16:20~17:10 寺田 寅彦 総合文化研究科 教授
17:10~17:20 大桃 敏行 教育学研究科
企画委員長/教育学研究科長

「脳から見る人間の言語と心」
「子どものことばを育む心」
「インターネットと心の健康」
総括討議
閉講の挨拶

第122回 平成27年秋季

東京大学公開講座

- 会場：東京大学安田講堂(文京区・本郷キャンパス)
 - 対象：成人一般・大学生・高校生
 - 定員：1,000人
 - 受講料：全講義(3日間)一括申込5,000円 選択(1日)2,000円
- ※高校生及び東京大学の学生は無料

- 申込受付：平成27年10月5日(月)から
- 申込方法：このパンフレットに記載の手順に従ってお申込みください。

お問い合わせ

- Eメール：ext-info@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
 - 電話：03-3815-8345
 - http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html
(東京大学ホームページ → 社会人・一般の方へ → 東京大学公開講座)
- 〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部社会連携推進課
※やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。
ご了承ください。

—— 開講にあたって ——



「心が折れる」「心が痛む」「幼心」「広い心をもつ」など、「心」は多様に使われている。「こころ」というよく知られている文学作品もある。「心」という表現は私たちの日常にあふれているが、「心」はそれを理解しようとするとなかなか手強い。「心」は身体のように発達するのか、発達するとすればどのように発達していくのか。動物と「心」を通わせるというのが、「心」について人と他の動物とはどのように異なっているのか。人工知能の開発が進んでいるが、ロボットでも「心」をもちうるのか、もちうるとすればそれはどのようなものなのか。そもそも「心」と身体の関係はどのように考えられてきたのか。

「心」の理解は難しいがゆえにまた、多くの学問がそれに挑んできた。本講座では、文学、法学、心理学、脳科学、医学、動物学、工学など多様な学問領域から「心」に迫り、「心」の理解の最前線をお示ししたい。「心」の理解は人の内面に深く関わるものであり、「心」に響く講座をお届けしたい。

平成27年10月
第122回東京大学公開講座企画委員会
委員長 **大桃 敏行**
(東京大学大学院教育学研究科長)

講師講義内容の概要

11月7日(土) 心と社会

13:00~13:50

文学と想像力

人文社会系研究科・教授 塚本昌則



私たちはこの世のすべてを経験できるわけではありません。言葉の発火力によって見知らぬ世界を旅することが、世界人として生きるためにどうしても必要なのです。ここではフランス文学を代表する作家プルーストの『失われた時を求めて』の一節を読み、言葉に刺激された想像力がどのように働くのかを見ていきましょう。また、フランス革命以降の文学が、想像力と深く結びつき、独創性を競うようになった歴史の流れも概観します。

14:10~15:00

「こころ」と「からだ」と「暮らし」の三角関係

医学部附属病院・特任講師 近藤伸介



精神疾患は心の病、身体疾患はからだの病、という分類は現実を正しく捉えているのでしょうか。実際には精神疾患がからだの変調を起こし、身体疾患が心の病を招きます。精神的健康は寿命にも影響するようです。また、心身の健康に環境（暮らし）が大きく影響することは論を待ちません。心とからだと暮らしが不即不離の関係にあることは当たり前のようでいて、医療界では独立したものとして捉えられがちです。本講義では、3者の織りなす三角関係について実例をもとにお話ししながら、未来型の医療について考えます。

15:20~16:10

精神障害者と罪と罰

法学政治学研究科・准教授 樋口亮介



残虐な殺人事件が報道された際、「とんでもない事件が起きたな」とみなさん思うことでしょうか。私もそう思います。その後、その事件の犯人が精神障害者であることが続報され、そのため、刑事裁判にかけられることはないであろうと報道される際、「まあ、仕方がない」と思う方もいれば、「とんでもないことだ」と憤慨される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。本講義においては、何故、精神障害者は処罰されないのか、という問いかけを考え、具体的にどのような場合に処罰されないのかについて考えます。

16:20~17:10

総括討議

法学政治学研究科・教授/総括討議司会 橋爪 隆
塚本昌則/近藤伸介/樋口亮介



11月22日(日) 進化と心

13:00~13:50

動物の心

農学生命科学研究科・准教授 武内ゆかり

「心」はヒトが生み出した概念です。広辞苑には、「人間の精神作用のもとになるもの、またその作用」と書かれています。それでは、ヒト以外の動物に「心」はないのでしょうか？今や誰もが「心」は脳の働きに他ならないと感じているでしょうが、ヒト以外の動物にも脳は存在し、精神作用も一部は確認されています。本講義では進化を振り返り、「動物の心」について考えてみたいと思います。



14:10~15:00

ヒトの心はどのように生れ、進化してきたか？

総合文化研究科・教授 長谷川寿一

ヒトは遺伝学的にはチンパンジーと最も近く、両者は幾つかの行動特性を共有しています。しかし、ヒトは他の類人猿と明白に異なる認知能力を発達させました。とくに共感、教育、他者の心の理解、言語といった社会認知能力は、ヒトに固有の能力であり、これらのおかげで、ヒトは文化を切り開き、文明を築き上げました。ではそもそもなぜヒトは豊かな社会認知能力を進化させたのでしょうか。講義では、ヒトの心の進化の道筋を説明し、人類の行方についても考察します。



15:20~16:10

ロボットは心を持つか？

情報理工学系研究科・教授 國吉康夫

人工知能・ロボットが近い将来、「心」を持ち、人間を超える、というのは本当でしょうか？「心」は人工的につくられるのでしょうか？非生物に宿りうるのでしょうか？そもそも、「心」とはいったいなんなのでしょうか？ロボットが「心」を持つとしたら、人間の「心」とどう違うのでしょうか？人工知能やロボットの研究の最前線が「心」についてどう取り組んで来たかを紹介しつつ、これらの問いについて考えます。



16:20~17:10

総括討議

理学系研究科・教授／総括討議司会 榎本和生

武内ゆかり／長谷川寿一／國吉康夫



11月29日(日) コミュニケーションと心

13:00~13:50

脳から見る人間の言語と心

総合文化研究科・教授 酒井邦嘉

人間を他の動物と分ける要素は、「言葉の使用・道具の使用・火の使用」だと言われますが、実はどれも不十分な答です。これらの要素はすべて、言語の本能が人間の脳に備わっていることに関係します。我々は、文を理解している時の脳の活動の様子を機能的磁気共鳴画像法 (fMRI) で測ることで、文法の中核などを明らかにしました。講演では、言語の特異性が、人間の心の生み出す芸術などにどのように反映されるかを明らかにします。



14:10~15:00

子どものことばを育む心

教育学研究科・准教授 針生悦子

小さな子ども、特に赤ちゃんを前にすると思わず、ふたん大人どうして話すときは全く異なる、独特のやり方で話しかけてしまう、という方は少なくないと思います。おそらく、子どもをかわいく思う「心」から出てしまう、このような「赤ちゃん向けしゃべり」。なぜ大人は小さな子に向けてそのような話しかけ方をするのか、このような話しかけ方は、子どものことばの発達に何か意味があるのか、について考えてみたいと思っています。



15:20~16:10

インターネットと心の健康

教育学研究科・教授 下山晴彦

「インターネットと心の健康」というと「ネット依存」や「ネットいじめ」といったネガティブな事柄を連想する方が多いのではないのでしょうか。しかし、インターネットは心の健康に役立つ面も多いのです。わが国ではうつ病、引きこもり、いじめといったメンタルヘルス問題が深刻です。これらは、専門の心理相談機関や医療機関への来談が遅れたり、できなかつたりすることで問題が悪化して生じます。そこで、インターネットを活用した心理相談システムを構築することで、専門相談へのアクセスが容易となり、問題解決が可能となります。本講座では、このようなソーシャルICTを活用した心の健康増進の仕組みについてお話をします。



16:20~17:10

総括討議

総合文化研究科・教授／総括討議司会 寺田寅彦

酒井邦嘉／針生悦子／下山晴彦



受講申込方法

＜お届けする払込用紙で、コンビニ・郵便局で簡単にお支払いができます。＞

1. ■ 郵送

「受講申込書」を切り取り、必要事項をご記入の上、**52円切手**を貼って郵送でお送りください。

■ インターネット

東京大学の公開講座のページにアクセスし、所定の手順に従ってお申込みください。
(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→東京大学公開講座)

■ 携帯サイト

以下のURLにアクセスし、所定の手順に従ってお申込みください。
URL: <http://www.todainavi.jp/>

(10月7日受付開始)

高校生、東大生は1.で申込み完了です。
当日学生証をお持ちください。

2. **受講券と一体となった払込用紙**を、ご記入いただいた住所に郵送します。
(お申込みから**2週間程度**でお手元に届きます。)

3. **お手元に届いた払込用紙にて**、お近くのコンビニまたは郵便局から受講料をお支払いください。(受講日の**3日前**までに必ずお支払いください。)
(払込用紙のミシン目の上部分が受講券となりますので、大切に保管して下さい。)
払込期限の過ぎた払込用紙は、コンビニではお支払いできません。
郵便局でのみお支払いが可能です。

4. **当日は、払込用紙の受領書を受講券の裏に貼り付けて、会場へ持参してください。**

● インターネット

HP: http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html

(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→東京大学公開講座)

キリトリ線

受講申込書

※ファックスによるお申込みは
できませんのでご注意ください

※ご記入いただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、公開講座、講演会以外の目的には使用しません。

ふりがな		年齢		歳
氏名		性別	男	女
学生の場合	学校名	高校		
		大学		
現住所		〒		
連絡先		電話		
職業		会社員	公務員	教員
		自由業	自営業	大学生
		高校生	主婦	無職
		その他		
希望受講日に○を記入		受講料(高校生・東大生は無料)		合計受講料 ¥
選択	11月 7日 (土)	2,000円		
	11月22日 (日)	2,000円		
	11月29日 (日)	2,000円		
全講義 (3日間)		5,000円		

※記入漏れのないようご確認願います。

※定員になり次第、締切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※必ず「受講のご案内」もご確認下さい。

キリトリ線

東京大学への経路

■地下鉄利用

[本郷三丁目駅] 丸ノ内線・大江戸線
 [湯島・根津駅] 千代田線
 [東大前駅] 南北線

■バス利用

【御茶ノ水駅】
 茶51駒込駅行又は東43荒川土手行→
 東大正門前下車
 学07東大構内行→東大構内バス停下車

【御徒町駅】
 都02大塚駅行又は上69小滝橋車庫前行
 →本郷三丁目駅下車
 【上野駅】
 学01東大構内行→東大構内バス停下車



お問い合わせ

東京大学本部社会連携推進課

Eメール: ext-info@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

電話: 03-3815-8345 平日9時~12時、13時~17時 (土・日・祝除く)

キリトリ線

1 9 4 0 0 2 2

52円切手
を貼って
下さい

株式会社スクールパートナーズ
東京大学公開講座係
 行

東京都町田市森野1-34-10

山折り

氏名 差出人住所

ご返送方法

受講申込書(ウラ面)に必要な事項をご記入のうえ、切り離し、プライバシー保護の為にこちらの面を折り返しコインで軽くこすって下さい。

- ① 必要事項をご記入いただけます。
- ② ハガキ部分を切り離してください。
- ③ この折り返し部分(谷折り)を内側に折ってください。
- ④ 図のようにコインの平らな面で軽くこすってください。

作成前に必ずお読み下さい

- 平らな面でする
- コインを立てない
- ツメでこすらない

※必ずコインの平らな面でこすってください。
 コインの角や鋭角な物などで強くこすりすぎると紙が破れる恐れがあります。
 ※圧着糊は一度剥がすと再接着できませんのでご注意ください。

⑤ 切手を貼り、郵便ポストに投函してください。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

キリトリ線

東京大学公開講座受講のご案内

受付業務の一元化のため、お申込み方法が変わりました。

- ・郵送の場合の送付先が変わりました。
※株式会社スクールパートナーズは、受付業務の委託先です。
- ・郵送でのお申し込みの方法が変わりました。
パンフレットの受講申込書を切り取り、必要事項を記入のうえ、52円切手を貼り郵便ポストに投函してください。
※詳しくは、受講申込書ウラ面の「ご返送方法」を参照してください。

次の事項をあらかじめご了承のうえ、お申込みください。

<会場の変更>

会場は、安田講堂に変更になりました。

<事前のお申込み・お支払いが必須です>

事前のお申込み・お支払いが必須です。

お申し込み後、受講券と一体になった払込用紙を送付いたしますので、必ず、払込用紙により受講日の3日前までに、コンビニまたは郵便局でお支払いください。(当日の現金でのお支払いはできません)

払込用紙は、お申込み後、2週間程度でお手元に届きます。払込用紙を紛失した場合は、すぐにご連絡ください。

<申込は先着順です>

定員になり次第、申込を締め切ります。

郵送での申込の場合、申込書が届いた時点で既に定員に達している場合は、申込書を受理できませんのでご注意ください。申込書が受理された場合のみ、払込用紙がお手元に届きます。

なお、インターネットによるお申込みの場合は、登録が完了した時点でお申し込み完了となります。インターネットによるお申込みをお勧めします。

<キャンセル・返金>

お申込み後のキャンセルはご遠慮ください。

入金後の受講料は、いかなる場合も返金できません。

<休講について>

台風などの荒天や交通機関のストライキ、インフルエンザの流行などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトを閲覧いただけない場合は、お手数ですがお電話でお問い合わせください。

また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学Webサイトに掲載いたします。

なお、上記の事由により休講となった場合は、可能な限り振替講座を行います。事情により開催できないこともあります。いずれの場合も、交通費・宿泊費等は補償できません。

<緊急連絡用のメールアドレスの登録について>

受講者の皆さまへ緊急のご連絡(当日の休講等)が必要となったときのため、連絡先として携帯メールアドレスのご登録をお願いしております。インターネットまたは携帯サイトからお申し込みの方のみ、受講の申し込みフォームから登録できますので、是非インターネットまたは携帯サイトからのお申し込みをしていただくようお願い申し上げます。

なお、郵送でのお申し込みの場合はメールアドレスの登録はできません。

<講義当日>

・講義当日は受付が大変混み合いますので、お早めにお越しください(開場:12時予定)。当日会場にて「講義要項」を配付します。

・講義時間は多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。

<修了証書>

全講義一括で受講を申し込まれた方が2日以上出席された場合は、ご希望により修了証書を差し上げます。詳細は講義当日配付の「講義要項」でご確認ください。

<内容変更>

事情により、やむを得ず、日程・講演タイトル・講演者などが変更になる場合がございます。

<その他注意事項>

・講座の録音・録画等は、固くお断りいたします。

・講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について主催者は一切責任を負いかねますので受講者ご自身で管理をお願いいたします。

・手話通訳を希望される場合は、事前にご連絡下さい。(費用は、原則ご負担いただきます。予めご了承下さい。)

<よくある質問>

・難易度はどのくらいですか？

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。

講義内容は、全体的には初心者から多少専門知識を有する方向けの内容となりますが、各講師の最先端の研究内容を連携させ構成されています。従って、専門的な知識を持つ方に対する内容も含まれます。

・受講資格・試験などはありますか？

ありません。どなたでも参加できます。